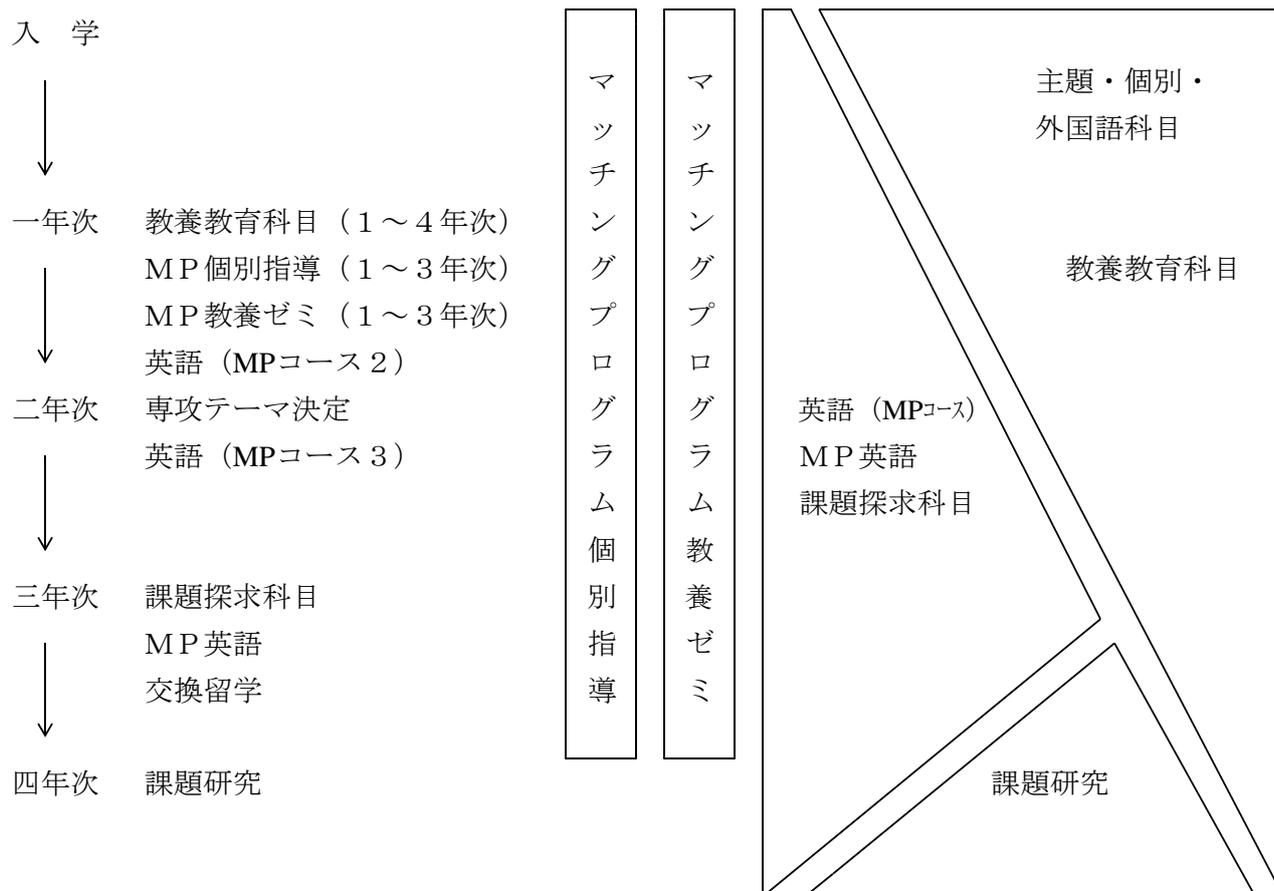


3. MPコース履修のしくみ

MPコースは、理学部を責任部局とした学部横断型の個別指導と少人数教育を基本とし、本学の持つ全ての教育資源を最大限に活用した新しい学部教育課程として運営されます。

履修の制限が付くこともありますが、全ての学部は、その開講科目をMPコースの学生が履修することを原則的に認めることになっています。



卒業 学士 (学術)

大学院博士前期課程へ

4. MPコース履修科目区分表

区 分	授業科目区分	最低修得単位数		授 業 科 目	履 修 年 次											
					1年次		2年次		3年次		4年次					
					前	後	前	後	前	後	前	後				
教 養 教 育 科 目	ガイダンス科目	2		自然科学入門(MPコース)	②											
	主 題 科 目	学問の世界	2			○	○	○	○	○	○	○	○			
		人間と社会	2			○	○	○	○	○	○	○	○			
		健やかに生きる	2			○	○	○	○	○	○	○	○			
		自然と技術	2			○	○	○	○	○	○	○	○			
	個 別 科 目	人文・社会科学	4		2 4 ~	人文・社会科学系科目	○	○	○	○	○	○	○	○		
		自然科学				自然科学系科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生命・保健科学				健康・スポーツ科学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		情報科学				4 2	スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	外 国 語 科 目	英語	2	1 2 (指定する 英語 8 単位 を含む)	英語 (MPコース)	②										
			2		英語 (ネイティブ)		②									
		4	英語 (オラコン)			○	○									
			英語 (作文・文法)			○	○									
			英語 (読解・人文)			○	○									
			英語 (読解・社会)			○	○									
			英語 (読解・自然)			○	○									
			英語 (検定)			○	○									
			英語上級			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ドイツ語	英語特別演習 1								○	○	○	○	○	○
			英語特別演習 2										○	○	○	○
ドイツ語初級					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ドイツ語中級							○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語初級					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フランス語中級							○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語初級					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中国語中級					○	○	○	○	○	○	○	○	○			
韓国語初級		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
韓国語中級				○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ロシア語																
スペイン語																
イタリア語																
合 計	2 6 ~ 4 4															
専 門 教 育 科 目	MP教育科目	6		2 4	MP個別指導 1	②										
		4			MP個別指導 2		①	①								
		4			MP個別指導 3				①	①						
		1 0			英語 (MPコース 2)	②										
	1 0		英語 (MPコース 3)			②										
			MP英語 1						②							
			MP英語 2								②					
			MP教養ゼミ(日本語)	○	○	○	○	○	○							
	4 6		MP教養ゼミ(倫理・哲学)	○	○	○	○	○	○							
			MP教養ゼミ(異文化)	○	○	○	○	○	○							
MP教養ゼミ(自然科学)			○	○	○	○	○	○								
MP教養ゼミ(自然科学)			○	○	○	○	○	○								
専 門 科 目	総合選択履修科目	4		4 ~ 2 2	情報処理関連科目 (設置学部が開講する専門教育科目の情報関連科目)	4										
		0 ~ 1 8			テーマ関連科目 (各学部が開講する専門教育科目)	0 ~ 1 8										
	課題科目	4 6		5 6	課題探求科目 (各学部が開講する専門教育科目)	4 6										
1 0		課題研究									⑩					
合 計		8 4 ~ 1 0 2														
総 合 計		1 2 8														

※ ○の位置は履修可能時期(セメスター)を、中の数字は単位数を示します。 例. ②=2単位

5. MPコース履修細目

- 1 教養教育科目は、卒業要件として1) から5) に従い、26単位以上44単位以下を修得する。
 - 1) ガイダンス科目2単位は必修とする。
 - 2) 主題科目 …… 4つの主題グループからそれぞれ1授業科目、計8単位を修得する。
 - 3) 個別科目 (生命・保健科学)
…… 4単位を修得する。このうちスポーツ実習A, B, C, D, E, Fのいずれかから2単位以上を修得すること。全体として4単位まで卒業要件単位に含めることができる。
 - 4) 外国語科目は、指定された英語8単位と初修外国語又は上級英語4単位を含む12単位以上を修得する。
 - 5) 外部検定試験等の結果により単位を認定する。
(別表1「外部検定試験等による単位認定について」参照)

- 2 専門教育科目は、卒業要件として1) ~ 3) に従い、84単位以上102単位以下を修得する。
 - 1) 専門基礎科目は、24単位を修得する。
 - 2) 専門科目の総合選択履修科目のうち、情報処理関連科目4単位以上を修得する。
 - 3) 専門科目の課題科目のうち、課題研究10単位を含めて56単位を修得する。

- 3 MP教育科目
指定されたクラスで履修する。

- 4 総合選択履修科目
 - 1) 情報処理関連科目は、理学部の数学科・物理学科が開講している専門教育科目の中から情報処理関連科目4単位を修得する。
 - 2) テーマ関連科目は教養教育科目〔主題科目、個別科目(生命・保健科学を除く)、外国語科目〕又は各学部の専門教育科目(専門基礎科目を含む)から18単位以内を修得する。

- 5 履修科目の登録単位数の上限設定
 - 1) 履修科目として登録できる単位数の上限は、原則として1年間42単位とする。
 - 2) 前年度の履修修得単位数が40単位以上で、当該年度の履修登録科目の単位数に比例した加重平均点(以下「単位平均点」という。)が80点以上の場合、翌年度の履修科目の登録単位数の上限を52単位とし、当該年度の履修修得単位数が38単位以上で、単位平均点が78点以上の場合、次年度の履修科目の登録単位数の上限を47単位とする。ただし、修得科目の評価に認定及び修了がある場合は、当該科目を単位平均点算出の対象から除くものとする。

- 6 「課題研究」の履修条件
3年次後期終了時でMPコースの卒業要件単位128単位のうち、修得単位が100単位以上の者。

- 7 副専攻コースの履修について
副専攻コースは、MPコースで学習した知識を、さらに広い視野で有効に活かすことのできる能力を養ってもらうために別の教育課程として設けたもので、全23コースがある。
MPコースの学生は、英語コース、ドイツ語コース及びフランス語コースに限り履修できる。
履修対象者は、単位修得状況が良好、成績優秀で副専攻コースの履修が可能と認められた者である。
また、副専攻コースとしての履修により修得した単位は、副専攻修了の有無にかかわらず卒業要件単位にはならない。従って、履修科目の上限設定(1年間に履修可能な42単位)の対象外となる。

外部検定試験等による単位認定基準に関する取扱要項

〔平成16年4月1日〕
学 長 裁 定

改正 平成18年2月22日

改正 平成19年1月24日

(趣旨)

第1条 この要項は、岡山大学における教養教育科目の外国語科目に係る外部検定試験等による単位認定に関する基準等について、必要な事項を定めるものとする。

(対象科目・外部検定試験等)

第2条 単位認定の対象となる授業科目及び外部検定試験等は、別表第1から別表第5のとおりとする。

- 2 大学間交流協定に基づく語学研修の学修成果に係る取扱いは、別表第6のとおりとする。
- 3 前2項において、平成10年度以前入学者については、平成11年度入学者に係る取扱いを準用することができる。

附 則

- 1 この要項は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 第2条第2項に係る取扱いは、平成18年度に実施される語学研修プログラムより適用する。

8 外部検定試験等による単位認定について

次の基準により単位を認定します。
単位を満たした学生で、単位認定希望者は理学部教務学生係へ申し出てください。

外部検定試験等による単位認定基準

別表第1の1 (平成19年度以降入学者適用)

科目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数
英語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	470～585点 (OT3)	別表第1附表-1の③から⑥の中より選択 2単位
		590～725点 (OT2)	別表第1附表-1の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	準1級	別表第1附表-2の①から⑥の中より 選択 4単位
		B級	
		500点以上	
		173点以上	
【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	730点以上 (OT1)	別表第1附表-1の②から⑥の中より選択 6単位	
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	1級	別表第1附表-2の①から⑥の中より 選択 8単位
A級			
550点以上			
213点以上			
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	4級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) } ドイツ語初級Ⅰ (読本) } ドイツ語初級Ⅱ (文法) } ドイツ語初級Ⅱ (読本) } 又は ドイツ語初級Ⅰ (総合) } 4単位
		3級以上	ドイツ語初級Ⅱ (総合) } 又は ドイツ語中級 } 4単位
			ドイツ語中級 } 4単位
フランス語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5級	フランス語初級Ⅰ (文法) 又は フランス語初級Ⅰ (読本) } 2単位
		4級	フランス語初級Ⅰ (文法) } フランス語初級Ⅰ (読本) } フランス語初級Ⅱ (文法) } フランス語初級Ⅱ (読本) } 又は フランス語初級Ⅰ (総合) } 4単位
			3級以上
		3級以上	フランス語初級Ⅱ (総合) } 又は フランス語中級 } 4単位
中国語	漢語水平考試 (HSK)	基礎1級	中国語初級Ⅰ (文法) 又は 中国語初級Ⅰ (読本) } 2単位
		基礎2級	中国語初級Ⅰ (文法) } 中国語初級Ⅰ (読本) } 中国語初級Ⅱ (文法) } 中国語初級Ⅱ (読本) } 4単位
			中国語中級 } 4単位
基礎3級及び 初中等1級以上	中国語中級 } 4単位		

別表第1の2（平成19年度以降入学者適用）

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数	
韓国語	韓国語能力試験	1級	韓国語初級Ⅰ（文法） 韓国語初級Ⅰ（読本） 韓国語初級Ⅱ（文法） 韓国語初級Ⅱ（読本） 又は 韓国語初級Ⅰ（総合）	4単位 4単位
		2級以上	韓国語初級Ⅱ（総合） 又は 韓国語中級	4単位 4単位
スペイン語	スペイン語技能検定	6級	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本）	又は 2単位
		5級	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本） スペイン語初級Ⅱ（文法） スペイン語初級Ⅱ（読本）	4単位
		4級以上	スペイン語中級	4単位
イタリア語	実用イタリア語検定	5級	イタリア語初級Ⅰ（文法） イタリア語初級Ⅰ（読本）	又は 2単位
		4級	イタリア語初級Ⅰ（文法） イタリア語初級Ⅰ（読本） イタリア語初級Ⅱ（文法） イタリア語初級Ⅱ（読本）	4単位
		3級以上	イタリア語中級	4単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とする。
 2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とする。
 3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とする。
 4 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語及びイタリア語に関しては、一つの授業科目について外部検定試験等による単位認定は1回限りとする。
 5 法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コースは、別表第1の2に掲げる科目（韓国語、スペイン語及びイタリア語）については卒業要件に含まれていないため、認定の対象とはなりません。

別表第1附表-1（平成19年度以降入学者適用）

項 番	授 業 科 目 名	備 考	
①	MPコース以外学部対象 記載省略		MPコース以外学部対象 記載省略
②	英語（ネイティブ）	OT1	MPコース以外学部対象 記載省略
③	英語（オラコン）	OT2 OT3	
④	英語（作文・文法）		
⑤	英語（読解）		
⑥	英語（検定）		

別表第1附表-2（平成19年度以降入学者適用）

項 番	授 業 科 目 名
①	英語（MPコース）
②	英語（ネイティブ）
③	英語（オラコン）
④	英語（作文・文法）
⑤	英語（読解）
⑥	英語（検定）

7. 単位修得について

履修登録について

岡山大学学則、マッチングプログラムコース規則及び単位修得要領等に従って、各自履修計画を立て、各年度ごとの授業時間割表・シラバス等により、履修を希望するすべての授業科目を各学期の始めに履修登録します。(他学部開講科目の履修については、授業担当教員の許可を受けること。)履修登録は指定された期間中に学生が大学内のパソコンを操作してコンピュータ登録します。(履修登録のない科目の単位修得は認められません。)また、履修登録の手続期間以外は、原則として履修科目の変更(追加登録・取り消し)は認められません。集中講義の履修登録については掲示等によりその都度指示します。

試験(専門教育科目)

- 1 試験の時期・・・各授業担当教員の指示によって行われます。
- 2 受験の延期・・・病気その他やむを得ない理由で受験できなかった者は、各授業担当教員の判定により追試験を受けられることがあります。
- 3 受験の心得・・・受験にあたっては、別に示される受験心得や各授業担当教員の指示に従って受験すること。

※ 教養教育科目については「履修の手引」を参照のこと。

単位の修得

単位の修得は、授業の2/3以上出席したものにつき、試験、報告書及び平素の成績を考慮して各授業担当教員が判定します。

成績の評価

評 価	評価基準(評点)
優	80点～100点
良	70点～79点
可	60点～69点
不 可	0点～59点(不合格として単位を与えません。)

なお、授業科目によっては、「優」、「良」、「可」の評価に代えて「修了」または「認定」を用いることがあります。

成績の通知

履修登録科目の成績は、前期末及び後期末に通知(各自がコンピュータで確認)します。

なお、後期末の成績通知については、4年次生は3月上旬頃に、1～3年次生については、3月中旬頃に通知します。

他大学等の授業科目の履修について

他大学等の授業科目の履修がMPコースで認められた場合は、履修して修得した単位が本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

他大学の履修科目(例えば、臨海実習など)の履修を希望する者は、所定の手続により履修を申し出ること。

※「岡山大学MPコースにおける他の大学又は短期大学の専門教育科目履修に関する「内規」を参照すること。

その他

学生に関係あることは、理学部教務学生係又はマッチングプログラムコースの掲示板で連絡するので見落とさないよう注意すること。

《受 験 心 得》

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるものは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。
- ⑤ 解答用紙には、所属学部等名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑥ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑦ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑧ 解答用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。自己の机の上に置いて退室すると無効になる。
- ⑨ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。
なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

8. 平成19年度開講科目

[教養教育科目]

学 年	講義番号	授 業 科 目	期別・単位			履修区分	備 考
			前期	後期	通年		
1	910048	自然科学入門 (MPコース)	2			必修	
	913017	英語 (MPコース)	2			必修	
	913153	英語 (ネイティブ)		2		2単位	
	913154	英語 (ネイティブ)		2		必修	
	913155	英語 (ネイティブ)		2			
主題科目 (学問の世界, 人間と社会, 健やかに生きる及び自然と技術), 個別科目, 外国語科目 (初修外国語) については, 選択になっています。							

[専門基礎科目及び専門科目]

学 年	講義番号	授 業 科 目	期別・単位			履修区分	備 考
			前期	後期	通年		
1	120101	MP個別指導 1			2	必修	
	120203	英語 (MPコース 2)			2	必修	
2	120102	MP個別指導 2	1			必修	20年度開講
	120103	MP個別指導 2		1		必修	20年度開講
	120204	英語 (MPコース 3)			2	必修	20年度開講
3	120104	MP個別指導 3	1			必修	21年度開講
	120105	MP個別指導 3		1		必修	21年度開講
	120201	MP英語 1	2			必修	21年度開講
	120202	MP英語 2		2		必修	21年度開講
1～3		MP教養ゼミ (日本語)	2			必修	1～3年次前期まで, 半期に1科目ずつ開講する。講義番号は, 開講科目が決まってからシラバスで確認すること。
		MP教養ゼミ (倫理・哲学)	2			必修	
		MP教養ゼミ (異文化)	2			必修	
		MP教養ゼミ (自然科学)	2			必修	
		MP教養ゼミ (日本語)		2		必修	
		MP教養ゼミ (倫理・哲学)		2		必修	
		MP教養ゼミ (異文化)		2		必修	
	MP教養ゼミ (自然科学)		2		必修		
4	120701	課題研究			10	必修	

授業科目の詳細は, 必ずシラバスで確認すること。

マッチングプログラムコースのその他の専門科目については, アカデミック・アドバイザーと相談しながら, 各学部の開講科目を履修すること。

9. 修学支援組織

- 1 岡山大学マッチングプログラムコース（MPコース）は、MPコース規則及びMPコース運営委員会規程に基づいて運営されます。

MPコース運営委員会委員長は岡山大学理事（副学長 教育・学生担当）がその任にあたり、またMPコースの円滑な教育をするための方針については、責任学部の学部長を委員長とするMPコース教育委員会が、実際の教育・指導についてはMPコース教育部が担当します。

MPコース運営委員会委員長	………	理事・副学長（教育・学生担当）	田中宏二
MPコース教育委員会委員長	………	MPコース責任学部 理学部長	加瀬克雄
MPコース教育部部長	………	MPコース教育部 教授	小島正明

- 2 MPコースクラス担任

MPコース教育部の教員の中から任命し、MPコース学生 of 全修学期間に渡り、当該年度入学生の修学指導等全般を責任を持って担当します。

クラス担任	准教授	末石芳巳（1年次生学生番号 1～8番担任）
	教授	鈴木久雄（1年次生学生番号 9～16番担任）

- 3 アカデミック・アドバイザー（A・A）

MPコース教育部の教員の中から任命し、MPコース学生 of 全修学期間に渡り、学習計画の作成について助言・指導を行い、その実施についても責任を持って担当します。

アカデミック・アドバイザー	教授	垂水共之
	教授	鈴木久雄
	教授	大嶋孝吉
	教授	作田誠
	教授	小島正明
	教授	田中秀樹
	教授	沈建仁
	教授	塚本修
	准教授	田中克己
	准教授	末石芳巳
	准教授	阿保達彦
	准教授	三枝誠行
	准教授	浦川啓

- 4 協力教員 MPコース学生の選抜、講義、卒業研究等の修学指導を担当します。